

2022年3月期-2024年3月期

# 中期経営計画

---

上村工業株式会社

2021年5月14日

- 創業（1848年）以来変わらぬ経営理念

## 誠心を以って実行に徹底する

- 経営方針

1. SDGs(持続可能な開発目標)・ESG(環境・社会・ガバナンス)・安全強化の推進
2. コンプライアンスの徹底
3. 研究開発の環境整備と迅速化の推進
4. 今後10年、20年を見据えた事業の推進
5. トータルソリューションを提供できるビジネスの確立
6. グループ会社間・部門間のシナジー効果向上の推進
7. 将来を見据えた海外の新製造拠点・新販売拠点の探索と検討
8. ビジネス環境変化への迅速な対応の徹底

# 当社のビジョンと中期経営計画のコンセプト

開発投資、人材投資、設備投資を進め、  
競争力のある強い会社を目指す

当社のビジョン

めっき技術の新たな可能性を見出し、  
「もの」の表面に付加価値を与え続ける  
ことで、世界のものづくりに貢献する。

## 開発投資

- ✓ 高密度化実装技術対応開発
- ✓ 自動車電装化対応開発
- ✓ 半導体標準仕様対応力強化

- ✓ 超細線回路導電体形成技術開発
- ✓ 新素材への表面処理技術開発
- ✓ 環境対応型製品拡充

## 人材投資

- ✓ ウェムラ流自律型人材の育成
- ✓ 意思決定能力の育成

- ✓ ダイバーシティ（多様性）の推進
- ✓ 考える力の育成
- ✓ グループクレドの浸透と理解の推進

## 設備投資

- ✓ 市場別めっき設備機械製造体制確立
- ✓ トータルビジネス(薬品&機械&液管理装置&加工)の強化

- ✓ 半導体用薬品供給体制構築
- ✓ 超細線回路用薬品供給および品質体制対応
- ✓ 国内外薬品製造拠点での品質統一確立
- ✓ 多品種少量生産対応

-2021年

2021-2024年

2025年以降

# 3か年業績目標

2021年3月期実績

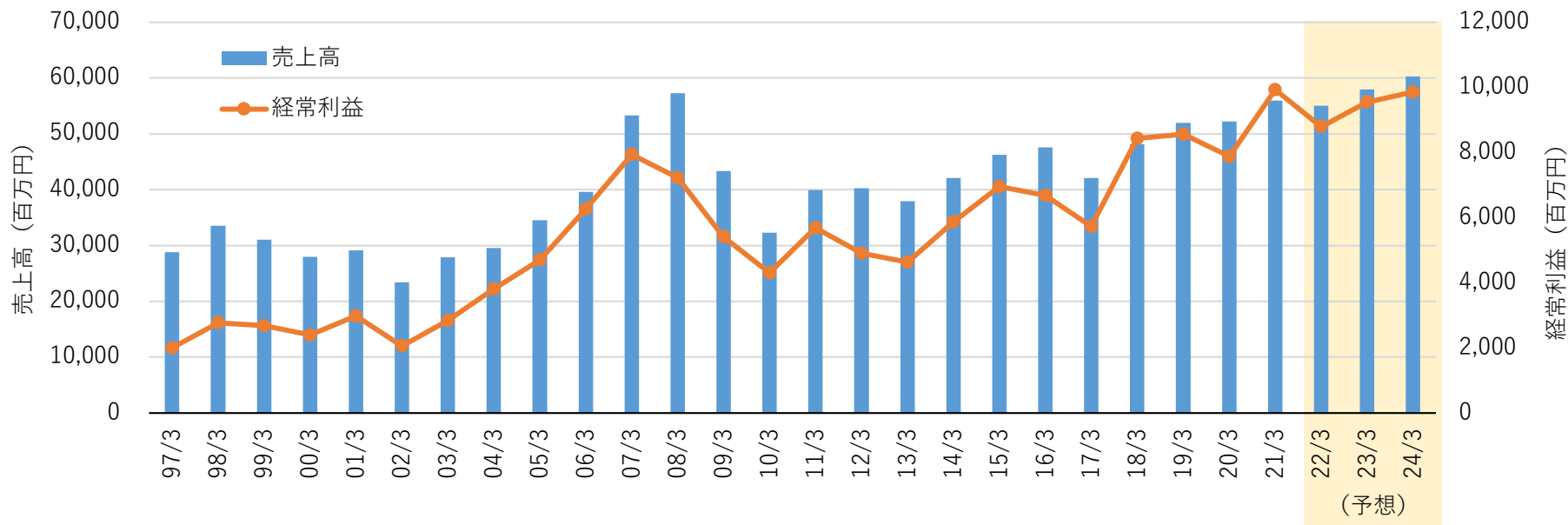
2024年3月期 (計画)

売上高 559億円 ⇒ 602億円

経常利益 99億円※ ⇒ 98億円

※2021年3月期は、テレワークやオンライン学習の急速な普及に伴い、携帯機器、パソコンおよびサーバー等の需要が増加した事と、高度な自動運転を可能にした自動車の増産および環境対応型自動車、電車等の更なる拡大で、主力のパッケージ用めっき薬品およびUBM関連薬品の拡大で売上が好調に推移し、過去最高益となりました。

## 株式上場以降の業績推移



# 設備投資計画

2022年3月期-2024年3月期累計 投資計画

(投資内容)

成長投資

136 億円

- ・ 超細線回路導電体形成技術強化
- ・ 新素材への表面処理技術強化
- ・ 環境対応型製品強化
- ・ クリーンルーム対応薬品供給体制強化

改善投資

55 億円

- ・ 製造品質の効率化
- ・ 開発解析能力の強化
- ・ 自然災害対応
- ・ 環境規制への対応整備

M&A投資枠※

100 億円

- ・ 外部資本買収、提携、出資

※資本政策方針をもとに、投資内容に応じて自己株式の活用のは是非も検討いたします。

## 欧州

- 自動車、航空機関連市場への拡販と情報収集

## 中国

- 既存顧客への技術支援能力強化
- 高付加価値製品への拡販と支援能力強化
- 薬品生産能力の強化
- 技術支援拠点増強
- 環境規制対応市場への販売強化

## 北米

- OEM企業の情報収集
- OEM企業と共同開発件数増加
- OEM企業への認知度向上活動
- OEM企業内製造技術支援能力強化

## 東南アジア+インド

- 既存顧客への技術支援能力強化
- 中国市場に代わる進出企業への販売 & 技術支援強化
- タイ & マレーシアでの生産能力増強
- 各国別法規制対応能力強化
- 環境規制対応市場への販売強化

## 中南米

- 自動車 & エレクトロニクス市場情報収集
- 会社認知度向上活動

## 顧客へのトータルビジネス(薬品・機械・液管理装置・加工)提供

### めっき用薬品

- PLP(Panel Level Package), RDL, インターポーザー用薬品開発改良と品揃え充実
- ADAS, パワーデバイス用環境対応自動車用薬品開発改良と品揃え充実
- 携帯機器, パソコン, サーバー用薬品改良開発と品揃え充実
- 一般的な有機材料および無機材料用薬品改良開発
- ADASおよび環境対応型自動車向け薬品改良開発
- 環境対応薬品改良開発

### めっき用機械

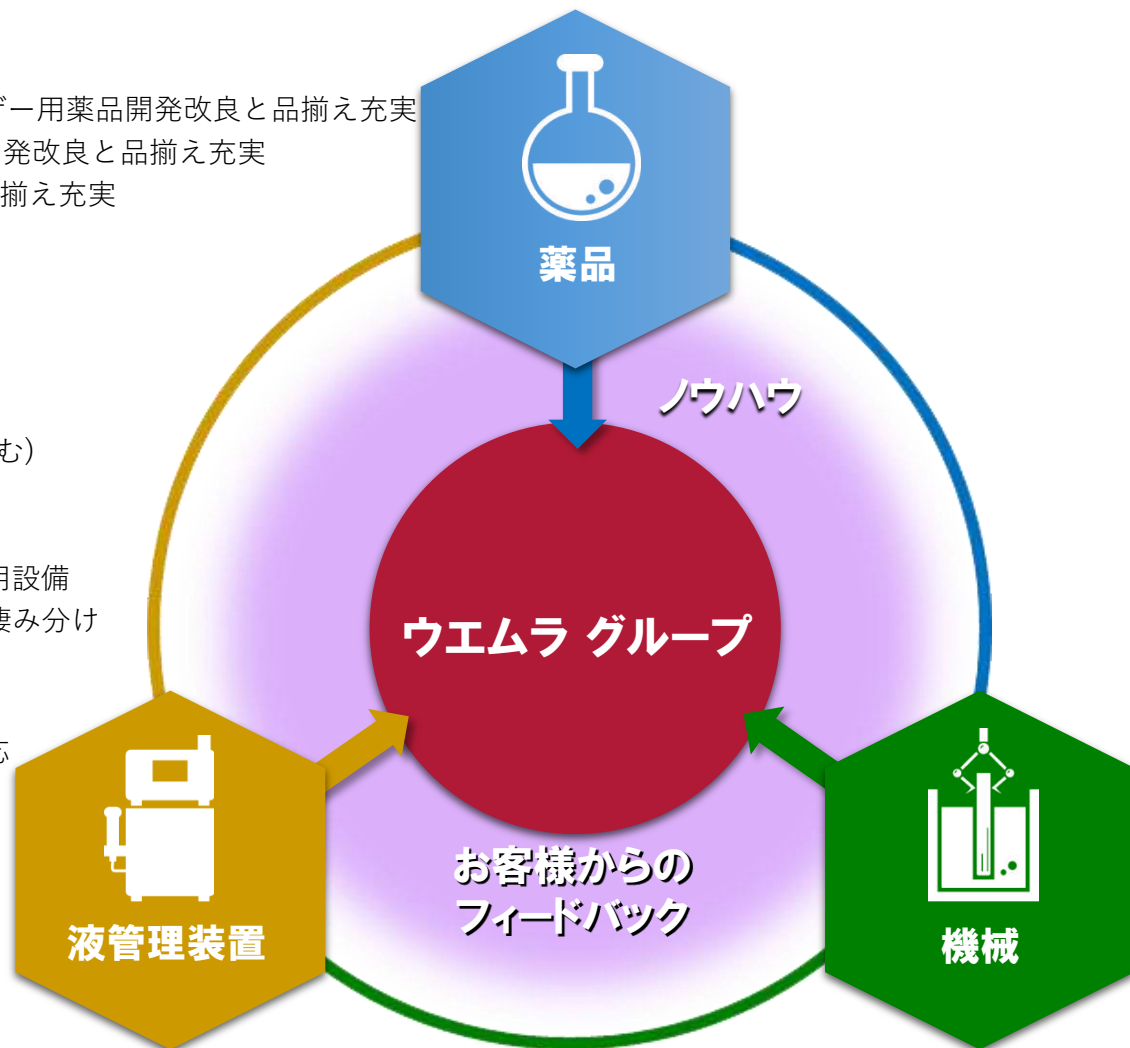
- PLP対応設備(ADAS, PC, サーバー, 携帯端末等含む)
- Bump対応設備(サーバー, ハイエンドCPU等含む)
- 有機材料および無機材料対応設備
- 環境対応型自動車(EV, PHV, FCV及びHV車含む)用設備
- ハイエンド市場, その他市場向けで機械製造工場棲み分け

### めっき液管理装置

- 全販売薬品液自動管理装置の品揃えとIoT環境対応

### めっき加工

- 開発プロセス量産化までの加工処理技術確立
- 表面処理基礎技術伝承のための加工業継続
- 量産までの少量生産支援



# ESG・SDGsに関する取り組み

当社は「Growing together with  (:You)」のグループ共通スローガンのもと、ステークホルダーの皆様と共に成長・発展し、社会に貢献できる企業を目指しています

## Environment (環境)

環境対応型製品・技術の開発・拡販



廃棄物・水使用量の削減



社会発展・環境改善へとつながる製品の開発・提供

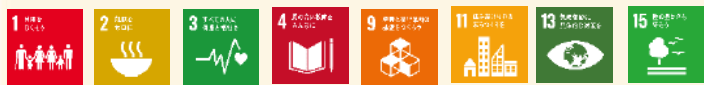


クリーンエネルギーの使用、電力使用量の削減



持続可能な  
社会の実現

社会貢献・地域貢献活動の推進



コンプライアンスの徹底、人権の尊重



受注から出荷までの工程の自動化

BCP (事業継続計画) の実施



いきいきと働ける職場環境の整備



## Social (社会)

## Governance (ガバナンス)



# 資本政策

安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上を基本方針とした資本政策に取り組んでいます

連結総還元性向 30%、ROE 8.5%を目標

2022年3月期-2024年3月期の3年間で60億円規模の弾力的な自己株式取得を実施

中長期的にはROE 10%を目指す

- 総還元性向による安定した配当の実現と自己株式取得の機動的な実施
- 経済状況、財務状況等を総合的に勘案した弾力的な自己株式取得の実施
- 将来の成長が見込まれる分野や地域、新たな技術取得、M&A、想定外の事態や自然災害に備えた内部留保の確保

※当社は、役職員と共に持続的な企業価値創造を実現していくため、その動機付けの原資として、またM&A戦略（M&Aや業務資本提携等）を実施するため、その対価として一定の自己株式を保有します。

※M&A戦略を実施しなかった場合は、発行済株式総数の10%を超える部分については、消却いたします。

# 譲渡制限付株式報酬制度導入の予定

- 譲渡制限付株式報酬制度（RS）導入の予定

当社の取締役(社外取締役を除く。)を対象に、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、譲渡制限付株式報酬制度の導入を予定しております。

今後、業績要件に基づく譲渡制限付株式報酬制度についても採用を検討いたします。

# 注意事項

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

## 【お問い合わせ先】

情報本部 経営企画部

TEL：06-6202-8532

# Growing together with

## Uyemura Group Companies

- **Japan** C.Uyemura & Co., Ltd.  
Sumix Corporation
- **USA** Uyemura International Corporation
- **Hong Kong** Uyemura International (Hong Kong) Co., Ltd.
- **Shenzhen** Uyemura (Shenzhen) Co., Ltd.
- **Shanghai** Uyemura (Shanghai) Co., Ltd.
- **Taiwan** Taiwan Uyemura Co., Ltd.
- **Korea** Uyemura Korea Co., Ltd.
- **Singapore** Uyemura International (Singapore) Pte., Ltd.
- **Malaysia** Uyemura (Malaysia) Sdn. Bhd.
- **Thailand** Sum Hitechs Co., Ltd.
- **Indonesia** PT.Uyemura Indonesia

